

和田勇氏(名譽)をNHK大河ドラマに

寺内町会館コーナーリニューアル

御坊市、和田勇顕彰会は、名誉市民第1号で東京オリンピック(1964年)を呼んだ男として有名な和田勇氏の顕彰事業で、御坊寺内町会館(中町2丁目商店街)の和田勇コーナーをリニューアルし、15日に関係者を招いてオープンセレモニーを行った。和田氏の二女、真理子・和田ロースさん(アメリカ・サンフランシスコ在住)から借用している遺品をはじめ、新たにハネルを設置して和田氏の功績を紹介。2019年のNHK大河ドラマ「いだてん」東京オリンピック「」に登場させてもらえるように地元の気運を盛り上げていく。

御坊市顕彰事業



柏木市長らが出席し、リニューアルオープン

部屋が奥まったところにあるため、玄関に近いところを間仕切りして新たにコーナーを拡充、整備した。和田氏の経歴や功績をまとめたハネルを新たに設置し、随時更新する。旧資料館の部屋は映像シアターとして和田氏のビデオやDVDを観賞できるようにした。

寺内町会館は昨年10月にオープン。和田勇資料館を常設し、和田夫妻の写真やアジアでただ一人委員に任命されたロサンゼルスオリンピック(1984年)組織委員会ユニフォーム、オリンピック誘致などの功績を称える叙勲や日本体育協会感謝状など各種表彰、書籍などを展示しているが、

「厳しい時代に生きて勇氣ある人」

和田氏の二女が顕彰活動を支援

顕彰事業に伴い、岡本恒男・顕彰会事務局長が、二女の真理子・和田ロースさんに活動内容をメールしたり、作成したビデオやパンフレットを送付するなど連携して取り組んでいることを報告。真理子さんは2004年、和田氏の名誉市民表彰式に来坊しており、来

部屋が奥まったところにあるため、玄関に近いところを間仕切りして新たにコーナーを拡充、整備した。和田氏の経歴や功績をまとめたハネルを新たに設置し、随時更新する。旧資料館の部屋は映像シアターとして和田氏のビデオやDVDを観賞できるようにした。

精神を広く伝え、大河ドラマに偉業を取り上げてもらえるように顕彰活動に頑張っていきたい」とあいさつし、コーナーを見学した。和田勇氏は明治40年アメリカ生まれ(日系二世)。4歳で帰国、父の故郷・名田町被井戸で過ごし、9歳でアメリカに戻った。東京オリンピックを誘致するため、岸総理から特命全權大使級の権限を与えられ、私費を投じて中南米やヨーロッパを回り、支持を呼びかけるなど東京オリンピック開催に大きな功績を残した。メキシコやロサンゼルス、札幌冬季各オリンピックの委員等も務め、誘致に努めるなど国際的に活躍。2001年に93歳で死去。

安倍総理も称賛 真理子さんから送られてきた安倍総理の演説は、2020年開催が決まった東京オリンピックの招致活動出陣式でのスピーチ。「和田氏は東京開催をサポートを得るため自費で回ってくれた。後

たり、NHKへの要望活動の参考になればと、和田氏を称賛する安倍総理の演説内容や和田氏のフライベイト写真を送り、顕彰活動を支援。和田氏を「厳しい時代に生きて勇氣ある人」と語り、人生の終焉には和田氏夫妻とも「人生に感謝していた」と記している。

NHKに顕彰事業をPRし